



平成22年4月27日

各位

上場会社名 三国コカ・コーラボトリング株式会社  
代表者 代表取締役社長 椎名 幹芳  
(コード番号 2572)  
問合せ先責任者 取締役常務執行役員 石川 幸治  
管理本部長兼経理部長  
(Tel 048-774-1132)

## (訂正・数値データ訂正あり)「平成21年12月期 第2四半期決算短信」の一部訂正について

平成21年8月5日に発表いたしました「平成21年12月期 第2四半期決算短信」の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所は\_\_を付して表示しております。

記

### ■ 4 ページ

定性的情報・財務諸表等

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(2) キャッシュ・フローの状況

#### 【訂正前】

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ29百万円減少し49億43百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローについては、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動のキャッシュ・フローは6億21百万円の収入となりました。これは主に減価償却費25億76百万円、売上債権の減少3億5百万円などの収入と、仕入債務の減少5億86百万円、前渡金の増加13億75百万円等の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは71百万円の支出となりました。これは主に固定資産の取得27億11百万円、短期貸付金の減少28億31百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は5億80百万円となりました。これは主に配当金の支払額5億79百万円によるものであります。

#### 【訂正後】

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ29百万円減少し49億43百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローについては、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動のキャッシュ・フローは10億85百万円の収入となりました。これは主に減価償却費30億40百万円、売上債権の減少3億5百万円などの収入と、仕入債務の減少5億86百万円、前渡金の増加13億75百万円等の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは71百万円の支出となりました。これは主に固定資産の取得27億11百万円、短期貸付金の減少28億31百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は10億43百万円となりました。これは主にリース会計基準適用に伴うリース債務返済による支出4億63百万円、配当金の支払額5億79百万円によるものであります。

■10ページ

5. 【四半期連結財務諸表】

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

【訂正前】

(単位：百万円)

		当第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
減価償却費		2,576
(中略)		
小計		<u>1,882</u>
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー		<u>621</u>
(中略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー		<u>△580</u>
(以下省略)		

【訂正後】

(単位：百万円)

		当第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
減価償却費		3,040
(中略)		
小計		<u>2,346</u>
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー		<u>1,085</u>
(中略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出		<u>△463</u>
(中略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー		<u>△1,043</u>
(以下省略)		